



岐阜大学機関リポジトリ

Gifu University Institutional Repository

犬の重症筋無力症に対する血清学的診断法の確立

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2008-03-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 宇塚, 雄次 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12099/750

総括研究報告書

犬の重症筋無力症に対する血清学的診断法の確立

研究代表者 宇塚雄次（帯広畜産大学畜産学部助教授）
（岐阜大学応用生物科学部教授）

研究要旨 イヌの重症筋無力症の検査として、アセチルコリン受容体（AChR）に対する自己抗体の検出があるが、これは現在アメリカでしか行われていないため、日本の臨床家が利用することが困難な状況にある。そこで、国内でも迅速に検査が対応できるような検査体制が作れないかを検討するために、イヌAChRの抗原蛋白の作成とその抗原を利用したELISAの確立を目標として実験を行なった。しかし、AChR蛋白の作成はその立体構造の復元の面から困難であったため、ヒト横紋筋腫瘍細胞由来のAChRを抗原として検査を行なってみた。結果としてAChRの動物種特異性による感受性の低下と、ヒト横紋筋肉腫細胞由来AChRが従来の測定系のイヌ胎児由来AChRよりも多くの成熟型AChRを含んでいることによる感受性の増強という相反する二面性を持つことが明らかになった。臨床応用に当たって、前者は低い抗体価しか持たない症例における偽陰性反応を示唆し、また後者は抗AChR_{canine}抗体価が陰性であった場合の次の段階の検査法としての有用性を示唆した。今後、症例数の増加や他の自己免疫性神経疾患の抗体価の検討を行い、より具体的な数値で特異度や感度を示すことでコスミックIIの有用性を確実にする必要がある。

研究分担者 更科孝夫（帯広畜産大学畜産学部）

“ 小俣吉孝（ “ ” ）

“ 田辺茂之（ “ ” ）

研究協力者 吉岡 祐

“ 長谷晃輔

“ 柴田武仁

“ 藤井克幸